

高齢者に安心の生活

健康

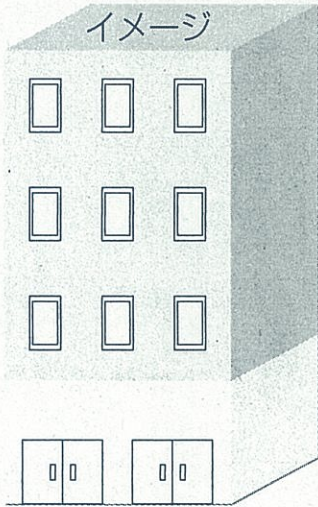
総務省が四月に発表した二〇一二年十月時点の推計人口によると、六十五歳以上の高齢者が全国で初めて三千万人を超えました。一方、日本の総人口は二年続けて減少し、減少数は過去最大となりました。高齢化と人口減少が急ピッチで進んでいます。

本県の総人口は七十九万九千人、六十五歳以上の高齢者は二十万八千人で、六十五歳以上の高齢者が占める割合（高齢化率）は26%です。約四人に一人が高齢者で、本県では十二年後の二〇二五年ごろに高齢者数がピークを迎えると考えられています。

今後ますます高齢化が進む中、県は介護が必要になっても高齢者が安心して生活できるように介護施設の整備を計画的に進めるとともに、高齢者にやさしい住まい環境の整備も進めています。ここでは、特別養護老人ホーム、高齢者向けの新しい賃貸住宅である「サ

いきいきライフ

サービス付き高齢者向け住宅



2~4F
高齢者向け賃貸住宅
バリアフリー構造
安否確認・生活相談
サービス付き

1F 介護事業所など
訪問介護、通所介護、
小規模多機能型居宅
介護、定期巡回・随時
対応サービス、診療所
など

介護施設と住宅環境整備

サービス付き高齢者向け住宅「ユニット」と呼ばれる施設も増えています。また、住み慣れた地域で暮らしを尊重しながら介護を受けられる「ユニット型」と呼ばれる施設も増えています。

特別養護老人ホームは、日常生活において常時介護が必要で、自宅で介護が困難な人が入所する施設です。食事、入浴、排せつなどの日常生活上の介護や療養上の世話などが受けられます。最近では、個室や共同生活室を備え、自宅に近い居住環境の下、少数の家

庭的な雰囲気の中で個人の暮らしを尊重しながら介護を受けられる「ユニット型」と呼ばれる施設も増えています。また、住み慣れた地域で暮らしを尊重しながら介護を受けられる「ユニット型」と呼ばれる施設も増えています。

「地域密着型」と呼ばれる施設や、認知症の高齢者が家庭的な環境の下、共同生活を行うグループホームなどもそれぞれ増えていきますので、設備やサービスの内容、費用などをよく確認し、選ぶようにします。

さらに、県は、持ち家率が高い本県の特徴を生かして、要介護状態になっても住み慣れた自宅で安心して暮らしたけられるように、介護福祉士やヘルパーなどが日中建物内に常駐し、安否確認や生活相談などのサービスを提供します。

四月末日現在、本県では、二十八棟七百九十九戸は、二十八年末現在、本県で必要な自宅の改修工事に対して助成が受けられます。詳しくは県長寿福祉課または各市町の高齢福祉担当課へ問い合わせください。

サービス付き賃貸も

（県長寿福祉課）